

Title	巻頭言 ライフサイクルと世代間伝達
Author(s)	やまだ, ようこ
Citation	教育方法の探究 (2008), 11: i-i
Issue Date	2008-03-31
URL	https://doi.org/10.14989/190352
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

巻頭言 ライフサイクルと世代間伝達

2008年の春がやってきた。今年は例年になく2月に雪が多く、寒くしづれる日々が続いた。しかし、ついこのあいだまで冷たい風が吹いていたことが信じられないように、また今年も春がやってきた。あたたかい息吹とともに草木の芽がいつせいに芽吹きはじめた。

私が住んでいるマンションのルーフ・バルコニーにも、梅と桜が花開き、つるバラや葡萄やイチジクや月桂樹やグミやアスパラや山椒の芽が出はじめた。どれも鉢植えで広いガーデンとはいかないが、花も実も楽しめるいろいろな樹木や草木を植えている。草木が育てば花が咲き実をむすび、野鳥も毎日のようにやってくる。

あたりまえのような季節の営みではあるが、冬から春へと季節が変わり、生態系のなかで新しい「いのち」が蘇り、ライフサイクルのなかで伝達されていくとき、生きていることのすばらしさを感じられる。私たちの大学や講座や研究室も、長い目で見ると、まるでそれ自体に「いのち」があるかのように、ライフサイクルがあるようだ。

今年の春は、2002年から6年間にわたって本講座のために御尽力をいただいた、准教授の遠藤利彦先生が御転任されることになった。遠藤先生は、発達早期における子どもの心理発達をご専門にされ、愛着関係をはじめとする養育環境や養育者の役割を解明してこられた。また、発達心理学を専門とする研究室（大学院生等）と保育現場との有機的な連携による子どもの総合的発達支援を行う実践活動も展開されてこられた。

遠藤先生は、乳幼児の発達心理学における我が国におけるリーダーの一人で、最近の主要著書だけでも、『アタッチメント：生涯にわたる絆』（編著）（ミネルヴァ書房、2005）、『発達心理学の新しいかたち』（編著）（誠信書房、2005）、『読む目・読まれる目：視線理解の進化と発達の心理学』（編著）（東京大学出版会、2005）、『はじめての質的研究：生涯発達編』（編著）（東京図書、2007）など、めざましい業績をあげてこられた。また、本講座においては、教務委員をはじめとする大学の業務や、学生の研究・教育指導に多大な貢献をされてきた。遠藤先生には、今後、ますますご活躍されるよう御発展をお祈りしたい。

教育方法学講座、発達教育論分野は、ライフサイクルのひとつの節目を迎えつつある。新しい「いのち」の息吹と世代間伝達によって、さらに生き生きとした研究室へと飛躍し、若い学生や院生たちを大きく育てていけたらと願っている。

平成20年3月
教育方法学講座（発達教育分野）教授
やまだようこ